

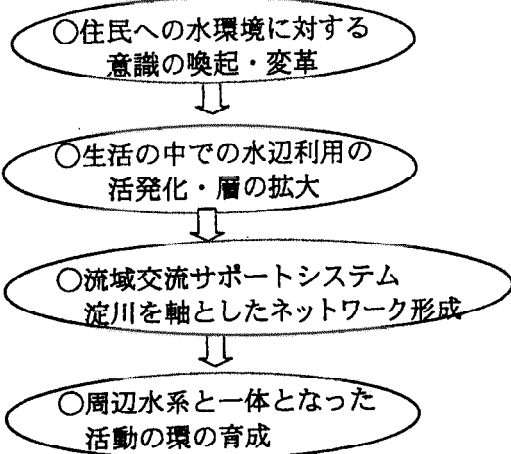
# 小竹委員からの提供資料

## 淀川区 淀川・河川敷ワークショップ 企画書

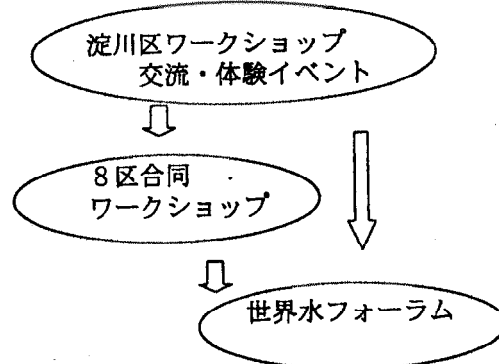
### 位置付け

お/ねがひ

- ◆自然の宝庫である淀川を活かし、暮らしに溶け込む河川環境を取り戻し、育んでいく意識を醸成・喚起する。
- ◆流域交流に向けた、住民・活動グループネットワーク形成をすすめる。



- ◆淀川流域8区合同ワークショップにもつながる区内グループの交流・協力体制づくりの場とする。
- ◆「第3回世界水フォーラム」開催に向け、活動や取組みの相互理解を深め、ネットワーク強化や協働体制を育む。



このような位置づけに基づき、次の2つのステップで取り組む。

#### ・第1ステップ: ~屋内・テーマ別ワークショップ~

分科会形式のテーマ別ワークショップにより、淀川に関わる現状を考察し問題提起を行うとともに、知識・情報共有、人材交流を図る。

#### ・第2ステップ: ~河川敷 交流・体験イベント~

上記ワークショップを踏まえ、淀川河川敷内において、イベントを開催。意識喚起・興味の増幅・川と関わる都市生活を呼び戻すきっかけとする。

## 第1ステップ：屋内ワークショップ

- 川（水辺）の環境を取り巻くしくみを知る一河川の生態系と役割・水の循環について考える
- 淀川の現状を踏まえ、流域全体で大きく影響を与え合っているという認識を深め、  
淀川の役割・河川と関わる暮らしや取組みについて考察する。
- 大阪府下で川を舞台に活動を展開するメンバーによる活動紹介や意見交換にも役立てる。  
→第2ステップのイベント開催への気運を高める

## 内容（素案）

### 1. 基調講演

淀川の多様性、生息する動植物、生活とのかかわりなどについて、問題提起も含めたグループワークショップへの‘投げかけ’となる講義を行う。  
講師の先生との相談により、河川数での簡易な観察なども検討する。

### 2. グループワークショップ

複数のテーマを設定し、水環境問題や河川敷利用などについて考察する。  
各テーマ内でもグループに分かれて話し合い、まとめた後、発表・意見交換を行う。  
その際、淀川で活動を展開しているグループメンバー等の協力をあおぎ、活動・取り組みの現状や成果を伝える場としても活用する。  
→各グループの活動内容等の会場内展示なども検討する。

### 3. 作文・絵画作品創作

2に先立ち、区内の小中学校において、淀川に関する作文・絵画などの作品創作を行い、会場内などで展示する。

#### ◆テーマの視点

- ①動植物の生息環境
  - ②河川空間の役割
  - ③取組みについて
  - ④くらしとのかかわり
- ）について考察する

#### <テーマ例>

- A イタセンパラになって、水環境を考えよう
- B 渡り鳥になって、淀川の役割を考えよう
- C 淀川を取り込んだまちおこし
- D 川のある暮らしをつくるために  
～①ハード提案 ②ソフト提案～  
など4～5テーマ

○最後にまとめとして、各テーマごとに

‘自分たちができること’ ‘様々な協力によってできること’ について話し合う。  
→発表

◆対象・募集人数

- ・淀川について ○広い知識を習得する ○様々な取り組み等を紹介・理解する  
○第2ステップでの市民主体イベントに向けた、人材発掘につなげる  
ことなどを考慮し、保護者の有無にかかわらず、学習・作業・考察などに参加が可能な  
中学生以上 とする。
- ・人数は 準備から参加するメンバー：各テーマ3名程度 計約15名  
当日参加者：各テーマ15（～20）名程度 計約60（80）名？  
とし公募を行う。

(保証)  
母？

◆講師候補

河合典彦 大阪市立<sup>大板</sup>板中学 (458-8531)  
小川力也 府立北野高校 (303-5661)

北野

(淀川環境委員会・高田先生—大阪市立大学—より推薦)

◆開催日時

8月~~31~~<sup>30</sup>日 (土)

午後12:30 受付 12:45～13:50 基調講演 (河川敷観察の程度により調整)  
13:50～14:00 休憩  
14:00～16:00 グループワークショップ (2部構成)  
16:00～ 発表  
16:30頃 終了予定

\*この際、10月開催の淀川フェスタ実行委員の募集を行う



## 第2ステップ：河川敷交流イベント

- 屋内ワークショップの成果も踏まえつつ、川の有る暮らしを育む一環として河川空間の活用・利用の楽しさを体感する。
- 準備段階からの継続的取組みにより、住民・活動グループの交流促進・ネットワークづくりの機会とする。同時に、市民と公共のパートナーシップ形成にもつなげる。
- 一連の体験と通し、河川空間に対する興味・意識醸成を図る。

### ◆視点

見る・聞く・訪れる



参加する・披露する

- ①河川敷利用を体験
- ②恩恵を知る
- ③動植物の生息環境に近づく・知る
- ④イベント作りを通し交流を図る

## 内 容 ( 案 案 )

### 1. 河川敷（～水上）市の開催

フリーマーケット・リサイクルショップ・活動展示を主とする‘市’を開く。  
 また、第1ステップのワークショップメンバーなどの提案・協力で、川辺あそびや実験ブースの設置も検討する。  
 （水際棧橋を利用した水上市の設置も検討。）

### 2. 河川敷コンサートの開催＝メイン舞台でのエンターテイメント＝

- オープニング：和太鼓演奏
- メインイベント：音大などの主導で、淀川に関わる楽曲等を演奏するコンサートを開催する。  
 事前から、曲作り・演奏メンバー募集をおこない、準備を重ねた上で当日成果を発表する。
- 各種発表：小・中学校等での取り組み発表  
 一般公募による演奏発表の場としても活用する。

ボイスから

### 3. 屋台や舞台づくり

フットレ 会場

料理組合

前日（事前）に、屋台や舞台づくりを行う。

この場を‘ヨシ’を使った道具づくりなどの体験の場として位置付けることも検討  
 →琵琶湖での活動メンバー・技術継承者等の協力を仰ぐ

◆イベント企画等 参加メンバー

○フェスタ実行委員会

準備委員会および、ステップ1のワークショップ参加者の中の有志が中心に実行委員会を組織、取り組む。

○メイン舞台イベント

○各種小イベント

\*フリーマーケット・コンサート作曲・作詞・演奏メンバーは、公募する。

◆司会・進行

NHK・OBアナウンサー と 地元の話家 の2名

◆開催日時

10月5日 (土) 雨天の場合 6日(日)に順延

開場 午前11:00頃～ 屋台・観察会などのグループの催しを適宜開始

午後1:30～ メイン舞台 イベント開始 オープニング

2:00～ メインイベント

3:00～

4:00～ フィナーレ

4:30 終了予定

◆準備

○準備検討委員会立ち上げ・検討開始

→各イベント参加者の募集 6月末より開始

<検討委員会メンバー選出>

淀川工事事務所

淀川ネイチャークラブ うどのクラブ

コミュニティ企画

十三わてらのつどい

ワイワイネットワーク

加島地区「街」づくり実行委員会

三国周辺町づくり研究会

生涯学習推進連絡会

など

○その他 地元機関への呼びかけ・協力団体の募集

・教育機関

・コミュニティFM

・環境事業局・河川管理財団-公共機関

- ・子ども会・老人会・婦人会等
- ・市民活動グループ
- ・飲食店
- ・企業
- ・舟運?
- ・琵琶湖など水系中流域での活動メンバーとの接触

### ◆舞台計画

- メイン舞台設定；川を背景に舞台を配置  
音響設備 一式
- 屋台（出店）はメイン舞台を取り囲む形で設置？

### ◆取組み体制

